

臨時休業明けの年間指導計画参考資料 (歴史的分野・第3学年)

※歴史的分野（第3学年）の教科書での時数 41 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 8 時間

（第3学年の社会科全体の時数 140 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 30.4 時間）

第5章 開国と近代日本の歩み

（配当 25 時間・うち第3学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 2 時間）

3 節 日清・日露戦争と近代産業（配当 8 時間）

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
79	1 欧米列強の侵略と条約改正 (p. 174～175) 列強と帝国主義 条約改正の実現 東アジアの情勢	<ul style="list-style-type: none"> ● 日清戦争に至るまでの背景としての欧米諸国の植民地獲得競争に気付き、東アジアの情勢を理解する。 ● 条約改正に至るまでの過程を調べ、欧米諸国と対等な外交関係を樹立するための人々の努力に関心を持つ。 	
80	2 日清戦争 (p. 176～177) 日清戦争 三国干渉と加速する中国侵略 日清戦争後の日本	<ul style="list-style-type: none"> ● 日清戦争の原因と結果、その後の国内外の情勢を理解する。 ● 下関条約の内容に関心を持ち、戦後のアジアの国際関係や国内情勢について考える。 	
81	3 日露戦争 (p. 178～179) 義和団事件 日露戦争 日露戦争後の日本	<ul style="list-style-type: none"> ● ロシアやイギリスの動向と日本との関係に着目し、日露戦争の原因と結果、その影響について理解する。 ● 日露戦争について、戦争の規模や国内外の反応をさまざまな角度から考える。 	
82	4 韓国と中国 (p. 180～181) 韓国の植民地化 満鉄の設立 中華民国の成立	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本による韓国の植民地化の進展のあらましを理解し、その影響について考える。 ● 中華民国が建国されるまでの過程を、辛亥革命の発生や、列強の支配と中国国内の民族的自覚の高まりから考える。 	
83	5 産業革命の進展 (p. 182～183) 産業の発展 交通の発達 資本家と労働者	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業革命によって、都市や農山漁村の生活が大きく変化したことを理解する。 ● 資本主義の発展とともに生活の向上が見られた一方で、労 	

歴史-2

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
	地主と小作人	働問題や社会問題が発生した ことに気付く。	
84	6 近代文化の形成 (p. 184~185) 日本の美と欧米の美 新しい文章 学校教育の普及	<ul style="list-style-type: none"> ● 近代文化の形成を、学問や科学の分野で国際的な業績が生まれたことや教育の普及から理解する。 ● 近代文化は、伝統的な文化の上に、欧米文化を受容して形成されたものであることに気付く。 	
-	[深めよう]「解放令」から 水平社へ (p. 190~191) 「解放令」とその後 部落改善運動の始まり 島崎藤村の「破戒」	<ul style="list-style-type: none"> ● 「解放令」の後、被差別部落の生活がむしろ厳しくなっていることを理解する。 ● 生活の貧困化を克服するために、「部落改善運動」が展開されるが、これに対する反発が、後の水平社創立につながることを理解する。 	
-	[深めよう] 足尾銅山と田 中正造 (p. 192) 足尾銅山の鉱毒被害 田中正造と鉱毒問題 解決への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 工業の発達に伴って公害問題が発生したことに気付く。 ● 鉱毒問題が社会問題となったことや問題解決の取り組みについて理解する。 	
85 86	章のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語活動を通して主に明治時代を大観し、時代の特色を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● p. 194 で第 5 章での学習を振り返り、語句の確認や近代前半の変化の整理、学習内容の確認の問いに取り組む。 ● 確認した内容を基に、p. 193 の「この時代の特色をとらえよう」の「歴史新聞でまとめよう」の活動に取り組み、作成した歴史新聞を基に、時代の特色についての自分の考えを深め、まとめる。 <p>【2 時間】</p>

第6章 二度の世界大戦と日本

(配当 19 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 3 時間)

1 節 第一次世界大戦と日本 (配当 8 時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
87	章の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 年表にある事柄や人物, 文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● これから学習する時代に関する写真や年表, 絵画などの資料を見て, この時代のイメージを持ったり, 世界との関わりを予想したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 章扉 (p. 195) や p. 196~197 の写真や年表, 語句を通して小学校の学習を振り返り, 「やってみよう」の活動に取り組み, 小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え, まとめる。 ● 教師用指導書付属 CD-ROM に収録されているワークシートも活用する。 <p>【1 時間】</p>
88	1 第一次世界大戦 (p. 198~199) 列強の動向 第一次世界大戦 総力戦とその結果	<ul style="list-style-type: none"> ● 第一次世界大戦を, 起こった背景, 経過, 被害などを通して理解する。 ● 戦争と国民生活について話し合う。 	
89	2 ロシア革命 (p. 200~201) ロシア革命 ソ連の成立 独裁と計画経済	<ul style="list-style-type: none"> ● ロシア革命の背景と経過とその後のロシアの歩みについて理解する。 ● ロシア革命について, 当時の状況を考え, 話し合う。 	
90	3 国際協調の高まり (p. 202~203) ベルサイユ条約と国際連盟 国際協調の時代 大衆の時代	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際連盟の特色を, 世界平和と国際協調の面から理解する。 ● 大戦後の欧米諸国の動きに関心を持っている。 	
91	4 アジアの民族運動 (p. 204~205) 中国の反帝国主義運動 朝鮮の独立運動 インドの民族運動	<ul style="list-style-type: none"> ● アジアにおける民族運動と日本の対外政策について理解する。 ● 中国, 朝鮮, インドの民衆の運動を通して, 民族自決の願いに関心を持つ。 	
92	5 大正デモクラシーと政党内閣の成立 (p. 206~207) 第一次護憲運動 大戦景気と米騒動 本格的な政党内閣の成立 大正デモクラシーの思想	<ul style="list-style-type: none"> ● 大正デモクラシーについて, 護憲運動や普通選挙の実現を通して理解する。 ● 政党内閣やデモクラシーの思想について, 現代と比較しながら話し合う。 	
93	6 広がる社会運動と普通選挙の実現 (p. 208~209) 社会運動の広がり 解放を求めて	<ul style="list-style-type: none"> ● デモクラシーの高まりなどの影響を受け, 多くの民衆運動が盛んになったことを理解する。 ● 当時の女性差別などについて 	

歴史-4

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
	女性運動と男子普通選挙の 実現	て、現代と比較しながら考え をまとめる。	
94	7 新しい文化と生活 (p. 210~211) 教育の広がり 大衆文化の発展 新しい思想や文化 都市の生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 大正期の教育と文化について 理解する。 ● 市民生活の変化を通して、文 化の大衆化などに触れる。 	

2 節 世界恐慌と日本の中国侵略 (配当 5 時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
95	1 世界恐慌とブロック経済 (p. 212~213) 世界恐慌と大不況 アメリカのニューディール ブロック経済	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界恐慌の概要と、欧米諸国の対応について理解する。 ● 資本主義経済の仕組みについて、具体的な資料を基に話し合う。 	
96	2 欧米の情勢とファシズム (p. 214~215) ファシズム イタリアのファシズム ドイツのファシズム	<ul style="list-style-type: none"> ● イタリアとドイツに台頭してきたファシズムの実態について理解する。 ● ファシズムが日本に与えた影響について考える。 	
97	3 昭和恐慌と政党内閣の危機 (p. 216~217) 政党政治の進展と行きづまり 昭和恐慌 難航する外交	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の政治の流れを、世界の動きと関連させながら理解する。 ● 日本の世界恐慌への対応や政党政治が行きづまってしまう状況について考える。 	
98	4 満州事変と軍部の台頭 (p. 218~219) 満州事変と日本の国際的孤立 軍部の発言力の高まり 経済の回復と重化学工業化	<ul style="list-style-type: none"> ● 満州事変から国際連盟脱退までの経緯を理解する。 ● 国民の困窮や軍部の主張などについて具体的に触れ、当時の日本の状況を考える。 	
99	5 日中戦争と戦時体制 (p. 220~221) 日中戦争の開始と長期化 強まる戦時体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の中国侵略の実態とそれに対する中国民衆の動きを理解する。 ● 当時の日本の社会や国民生活の状況を通して、国民の思いや考えに気付く。 	

3 節 第二次世界大戦と日本 (配当 6 時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
100	1 第二次世界大戦の始まり (p. 222～223) 第二次世界大戦の始まり 戦争の拡大 ドイツの占領政策	<ul style="list-style-type: none"> ● 戦争がヨーロッパで起こり、拡大していった経緯を理解する。 ● ドイツやイタリアと同盟を結ぶなど、日本が選んだ行動について、国際的な視野で考える。 	
101	2 太平洋戦争の開始 (p. 224～225) 日本の南進 日米交渉の決裂 太平洋戦争の始まり	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本のとった南進政策について考え、話し合う。 ● 太平洋戦争の背景や戦争が始まった経緯について理解する。 	
102	3 戦時下の人々 (p. 226～227) 国民の動員 植民地と占領地 総力戦と犠牲者	<ul style="list-style-type: none"> ● 戦争の長期化とともに国民生活が統制されていく実態を理解する。 ● 当時の体験談を聞く機会を設定し、戦争の持つ意味を問い直す。 	
103	4 戦争の終結 (p. 228～229) イタリアとドイツの降伏 空襲と沖縄戦 日本の降伏	<ul style="list-style-type: none"> ● ドイツ・イタリアの降伏、沖縄戦から原爆投下などを通して、戦争終結の経緯を理解する。 ● 戦争の被害の実態を通して、国民の苦しみについて関心を持つ。 	
-	[深めよう] 北海道とアイヌ民族の歴史 (p. 234～235) 古代の北海道 和人との交易とアイヌ民族 松前藩とアイヌの人々 近代以降のアイヌ民族	<ul style="list-style-type: none"> ● 明治時代以前の北海道やアイヌ民族の歴史を理解する。 ● 「アイヌ文化振興法」の制定や、国会の「先住民決議」から、アイヌ民族が誇りを持って暮らせる社会について考える。 	
-	[深めよう] 全ての子どもに教育を (p. 236) 石井十次 留岡幸助 政府の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 石井十次と留岡幸助の活動を学ぶとともに、当時の障がい者に対する社会の対応について考える。 ● 政府の取り組みから、現代に至る福祉政策について話し合う。 	
104 105	章のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語活動を通して主に大正時代から昭和時代を大観し、時代の特色を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● p. 238 で第 6 章での学習を振り返り、語句の確認や近代後半の国際関係の整理、学習内容の確認の問いに取り組む。 ● 確認した内容を基に、p. 237 の「この時代の特色をとらえよう」の『年表』でまとめようの活動に取り組み、作

歴史-7

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
			成した年表を基に，時代の特色について の自分の考えを深め，まとめる。 【2時間】

第7章 現代の日本と世界

(配当 14 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 3 時間)

1 節 戦後日本の発展と国際社会 (配当 9 時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
106	章の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 年表にある事柄や人物，文化財のイラストから小学校で学習した内容を振り返る。 ● 現代の日本について，写真や年表などの資料を見て，この時代のイメージを持ったり，世界と関わりを予想したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 章扉 (p. 239) や p. 240～241 の写真や年表，語句を通して小学校の学習を振り返り，「やってみよう」の活動に取り組み，小学校の学習を踏まえて時代のイメージを考え，まとめる。 ● 教師用指導書付属 CD-ROM に収録されているワークシートも活用する。 <p>【1 時間】</p>
107	1 占領下の日本 (p. 242～243) 敗戦後の日本 国民の苦難 占領の始まりと非軍事化	<ul style="list-style-type: none"> ● 敗戦後の日本の状況や発生した問題，GHQ による占領政策について理解する。 ● 戦後の国民の苦難について，体験者などの話を通して考える。 	
108	2 民主化と日本国憲法 (p. 244～245) 民主化 日本国憲法の制定 政党政治と社会運動の復活	<ul style="list-style-type: none"> ● 戦前との比較によって，具体的な改革の内容に関心を持つ。 ● 憲法制定を通して，民主化の実態を理解する。 	
109	3 冷戦の開始と植民地の解放 (p. 246～247) 国際連合と冷戦の始まり 新中国の成立と朝鮮戦争 植民地支配の終わり	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際連合の誕生と東西冷戦について理解する。 ● 中国，朝鮮を中心に，戦後のアジアの動きを，世界の動きを背景に理解する。 	
110	4 独立の回復と 55 年体制 (p. 248～249) 占領政策の転換 平和条約と安保条約 自民党長期政権と安保条約改定	<ul style="list-style-type: none"> ● 占領政策の転換を，東アジアの動きと関連付けながら理解する。 ● サンフランシスコ平和条約や日米安全保障条約について，当時の世論を意識しながら話し合う。 	
111	5 緊張緩和と日本外交 (p. 250～253) 緊張緩和の進展 広がる日本の外交関係 沖縄の日本復帰	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界の緊張緩和の動きやアジアへの広がりを理解する。 ● 日本の外交を，沖縄の日本復帰を中心に話し合う。 	
112	[歴史にアクセス] 日本の領土をめぐる問題とその歴史 (p. 252～253) 竹島 北方領土	<ul style="list-style-type: none"> ● 竹島，北方領土，尖閣諸島の領有の歴史的起源と来歴に関する日本政府の見解を理解する。 ● 領土問題が存在「する」「しな 	

歴史-9

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
	尖閣諸島	い」をめぐって各国の見解が異なる背景を考える。	
113	6 日本の高度経済成長 (p. 254~255) 高度経済成長 国民生活の変化と公害 経済大国日本	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本経済が高度成長をとげ、国民生活が変化したことを理解する。 ● 経済発展のかげで、社会にさまざまなひずみが生まれたことに気付く。 	
114	7 マスメディアと現代の文化 (p. 256~257) 戦後の文化とマスメディア テレビと高度経済成長期の文化 インターネットの発達	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本のマスメディアの発達の歴史を理解する。 ● マスメディアによる生活の変化やこれからの付き合い方について考える。 	

2 節 新たな時代の日本と世界 (配当 5 時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
115	<p>1 冷戦後の国際社会 (p. 258～259)</p> <p>冷戦の終結 国際協調への動き 相次ぐ地域紛争</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 冷戦終結と、その後の国際協調の動きについて理解する。 ● 冷戦終結後に起こった地域紛争について理解する。 	
116	<p>2 変化の中の日本 (p. 260～261)</p> <p>冷戦後の日本 55 年体制の終わり バブル経済崩壊後の経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 冷戦後の日本の政治の流れを、経済と関連付けて理解する。 ● 国際社会における日本の立場について、近年の動きを通して関心を持つ。 	
117	<p>3 持続可能な社会に向けて (p. 262～263)</p> <p>日本社会の課題 グローバル化の進展 歴史を学んで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 平和で公正な社会をつくるため、差別や偏見をなくすことが課題であることを理解する。 ● 国際社会の中での日本の果たすべき役割について話し合う。 	
-	<p>[深めよう] 現代の公害問題とその克服 (p. 268～269)</p> <p>高度経済成長と公害問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の公害について、高度経済成長との関連の中で理解する。 ● 世界的な環境問題と地球の未来について話し合う。 	
-	<p>[深めよう] 歴史の中の大震災 (p. 270～271)</p> <p>古代から近世までの震災 三陸沖地震 関東大震災と復興都市計画 阪神・淡路大震災とボランティア 東日本大震災と子どもたち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の過去の大震災について知り、当時の人々の対応を理解させる。 ● 過去の人々の震災の経験から、これからの私たちの防災や安全を考える。 	
-	<p>[深めよう] 人類の歴史とエネルギー (p. 272～273)</p> <p>産業革命以前のエネルギー 産業革命と電気の登場 原子力の登場と環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人類とエネルギーの関わりについて、エネルギーの発展を通して理解している。 ● 現代のエネルギーの利用と課題を考え、これからのエネルギー使用について話し合う。 	
118 119	<p>歴史学習のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語活動を通して現代を大観し、時代の特色を捉える。 ● 日本の歴史の特色を自分の言葉で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● p. 274 で第 7 章での学習を振り返り、語句の確認や日本国憲法の内容の整理、学習内容の確認の問いに取り組む。 ● 確認した内容を基に、p. 275 の「歴史学習のまとめをしよう」の「プレゼンテーション・ソフトを使って日本の歴史をまとめよう」の活動に取り組み、まとめた内容を基に、日本の歴史の特

歴史－11

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
			色についての自分の考えを深め、まとめる。 【2時間】